

121217 ノスリ

車で走行中、沿道の農地に**大きな鳥**が舞い降りるところを見ました。

車を降りて近づいてみると…

カラスくらいの大きさですが、ずんぐりとした体格の「**猛禽類**」です！

「**トビ**」に似ていますが、体色が淡いですし、大きさも「**トビ**」ほどではありません。

(「**トビ**」の体長は60～65 cm程度とカラスに比べて一回り大きいですが、この鳥は60 cmに満たないくらいで、「**オオタカ**」の雌と同程度の大きさでした)

この猛禽の名前は「**ノスリ**」、

平地から山地の森林に生息しており、ネズミやカエル、ヘビ、昆虫、小鳥などを、木の枝や電柱などにとまって探していることがよくあるそうです。

また、冬場には、農地の杭などにとまっている姿を見ることができるようですが、今回の写真は、まさにその姿を撮影したものです。

さて、「**ノスリ**」の名前ですが、「野」でよく見る「**タカ**」なので、「**ノタカ**」でもよさそうなものですが、何故このように名付けられたのでしょうか？

日本語の「**野**」に韓国語でタカを意味する「**スリ**」を付けたという説や、野の上を滑空する様子から「**野擦り** (ノスリ)」と名付けられた、という説などがあるようです。



